

ー令和6年度第13回魚道ワークショップ開催のご案内ー

拝啓、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

昨年は、7月12日および8月7日の2日間にわたって実施しました。7月12日は日本大学理工学部船橋台校舎環境水理実験室、8月7日には多摩川昭和用水堰周辺にて実施し、累計120名が出席されました。実験室を通して、河川に見られる河川構造物周辺の流れがどのような危険性があるのか、どのようにすると安全性が高まるのかを紹介し、意見交換を行いました。現場では、河川には砂と礫などが堆積するところが生物にも河川利用においても重要な役割をしています。砂や礫がなく粘土質の岩ではどんな危険性があるのかを紹介し、どのように安全性を戻すことができるのか紹介しました。また、川の中で見られる石が組まれた状態をどうすると人が真似して組み立てることができるのかを体験できる機会を設けました。さらに、最近実施した石組みによる魚道を紹介しました。

熱心に参加された方々のおかげで盛会に終了することができました。改めてお礼を申し上げます。

今年度につきましては、1日目には様々な水生生物が棲みやすい、避難しやすい川、移動しやすい環境について技術・研究・文化・生活など幅広く話題提供をしていただき、活発な意見交換をさせていただきたいと考えています。また、2日目には実験室にて、伏流流れのポイントや礫の間の流れが様々な水生生物が棲みやすい、避難しやすい環境になり得るのかを見学し、意見交換をしていきたいと考えています。

話題提供に基づいた意見交換会を1日目に実施し、2日目に実験室へ向かい活発な議論ができればと思います。参加費用は無料です。実験室では時間帯ごとに参加人数を調整させていただきます。また、話題提供は任意です。参加される全ての方が話題提供するわけではありません。また、話題提供者はどのような立場でも歓迎します。話題提供していただける方は10月30日までに題目、400字から800字程度の話題提供の概要、話題提供者名、希望発表日を明記したものを送信してください。こちらから改めて話題提供の発表スケジュール等のご案内をお知らせいたします。なお、発表件数が多い場合には、日程変更のご相談または選考させていただきます。

河川環境および魚道整備に関心がある方であればどなたでも参加できます。多数の参加をお待ちしております。

記

開催日：1日目：11月6日（水）；2日目：11月7日（木）

開催場所：

1日目：日本大学理工学部駿河台校舎1号館121会議室（150名定員）

コーディネーター：流域生態研究所 所長 妹尾優二

日本大学理工学部土木工学科 教授 安田陽一

2日目：日本大学理工学部船橋校舎環境水理実験室

開催時間：1日目：午前9時半から午後4時

2日目：午前9時半から午後4時

参加希望は電子メール(yasuda.youichi@nihon-u.ac.jp)にて受付けます。

参加申し込み時の記載事項：所属機関、氏名、勤務先の住所、電話番号、メールアドレス（送信された情報はこちらで責任を持って管理いたします）

参加希望日を明記願います。なお、実験室での見学では以下の時間帯をご指定下さい。

1. 10時から11時
2. 11時から12時
3. 12時から13時
4. 13時から14時
5. 14時から15時
6. 15時から16時

日本大学理工学部土木工学科環境水理研究室
教授 安田陽一

〒101-8308 東京都千代田区神田駿河台1-8-14

TEL&FAX：03-3259-0409

E-mail: yasuda.youichi@nihon-u.ac.jp